

## 第3回ワークショップ〈まとめ〉

1. 開催日時・場所：令和3年7月31日（土）10:00～12:00 松江市総合文化センター大会議室

2. テーマ：「リニューアル後の総合文化センターをどう利活用するのか」

3. 内容：テーマについて、「音楽」「図書館」「複合施設」の3つの視点から、少人数でメンバーの入れ替えを行いながら話し合っていた。ワールドカフェ方式で実施し、生涯学習課と中央図書館の職員が各グループのホスト（説明者）を務めた。

4. 参加者：24名

5. 主な意見

### (1) 「音楽について」 リニューアル後の総合文化センターをどう利活用するのか

#### ①子ども達に本物（良質）体験をさせる

- 小学生のうちに1回はプラバに来てほしい。パイプオルガンなど生の演奏を聴いてほしい。そんな贅沢な経験ができるのは松江市民の特権だ。
- 子ども達にも興味をもってもらおうよう、アニメで使われているクラシックなどプログラムを工夫して演奏会をする。
- プラバに来たことのない人たちにきっかけをもってもらうため、敷居を低くする工夫も必要。
- 子ども達にとっつきやすい工夫をすることもよいが、本物、本当によいものを提供することも大事。
- 子ども達にプラバで生の音楽を聴いてもらうために、招待枠を設けたり、学校からのバスの助成があったりすると良い。
- プロの演奏会の公開リハーサルを子ども達に公開してはどうか。
- 音楽との接点が少ない子ども達にも、音楽に接する機会の提供支援をおこなう。

#### ②循環型を意識した取り組み

- 「循環型」がテーマである。音楽好きを育てる→聴衆が増える→聴衆がいて演奏家は演奏の場を得る→演奏家が音楽好きを育てる事業にかかわる
- 市民音楽家や小・中学校の音楽活動を支援する組織を設け、拠点施設とする。地域と市民の音楽活動をつなぐ拠点とする。
- 音楽家の小学校訪問コンサート等をつなぐ役割を果たす。
- リサイクル支援事業をもっと周知する。間口を広げる。
- お試しできる楽器を置く等、市民音楽家がレッスンしやすい場を設ける。

#### ③優れた音響を活かす取り組み

- 一流の演奏家による音楽祭・スクールの開催をめざす。
- 国際音楽祭をある期間に集中して国内外から人が集まるようにする。
- プラバ音楽祭などを市外、県外からの誘客事業とする。観光協会の観光客向け広報等でもプラバのイベント紹介をしてほしい。
- QRコードを活用した広報。リピーターを確保。

#### ④パイプオルガンについて

- 動画を配信し、マールで紹介してもらう。
- まず音色を聴いてもらうために、CMに使うしてもらう。
- 現状でも他市と比べても多くの事業をしていると思う。
- ミュージックセラピーに活用してはどうか
- ホールでパイプオルガンの演奏付きの入学式などの式典、結婚式などを実施。パッケージをセールスする。
- 個人利用がしやすくなると良い。
- 「松江市の歌」パイプオルガンの音で流しては。
- 年に1回でも2回でも「オルガンの日」を設け、定時でオルガンの音色が聴ける日をつくってみてはどうか。

#### ⑤新しいイベントについて

- 夏休み期間に有名な音楽家を招いてクリニックを行う。
- PMS（プラバ・ミュージック・スクール）の開校。パイプオルガン以外にも、管弦楽の講師のボランティアを募集して実施し、卒業生でオーケストラを構成。まずは参加をしやすくするために、安価にお試しワンレッスン制にする。

#### ⑥これまで来てくれなかった人が来てくれるようになるには

- 県外からの誘客を促すため、音楽祭を一定の期間継続するかたちで実施。
- 駅からのバスの便が少ないため、もう少し交通の便がよくなれば良い。
- 特に周辺部の子どもたちはプラバホールに来るだけで大仕事。学校行事としてプラバホールに行く機会を教育委員会などがつくと良い。
- 小学生の間に1回はパイプオルガンに触れてもらえるように、子供を送迎するための専用バスがあるとよいのでは。（路線バスや教育バス等）

#### ⑦音楽好きを育てるためには

- クラシック専用ホールのイメージが強いため、他の分野・ジャンルでの活用を推進する。大きな音で演奏する音楽では使いにくい。
- 休園、休校後の使っていないピアノの活用。プラバ内の各部屋に自由に使えるように置いておく。

#### ⑧広報の工夫について

- 無料の公演があることしっかり広報する。
- 改修内容を周知する。
- QRコードを貼るなど、リピーターを確保するために広報を工夫する。

## (2) 「図書館について」 リニューアル後の総合文化センターをどう利活用するのか

### ①設備等について

- 利用形態別スペースを設置。（コワーキングスペース、飲食併用型、読書専用等、雑談用）
- カフェと複合（一体化）し、借りた本を読むスペースをつくる。（本にどこまで持って行って良いかのラベリングをしてはどうか、カフェはホールと連動する）

- ❑ 社会人用有料席を設ける。(wi-fi、電源、個室でなくてもパーテーションで区切ってあるくらいでよい) (150円/1h?)
- ❑ 全館 wi-fi が利用できるようにする。
- ❑ 広場を活用して椅子、テーブル、パラソルを設置。
- ❑ 高齢者用等、椅子のバリエーションを豊富にする。家具店とコラボレーションし、試しに座れるようにする。
- ❑ かばんを置けるように幅の広い椅子にする。

## ②資料について

- ❑ 資格取得を促すために専門書をおく。
- ❑ 楽譜の貸出をする。
- ❑ 音楽を勉強する人、オルガン学園生が見たい資料が少ないため、音楽に特化した資料コーナー、閲覧室(楽譜、辞典、書籍)があるとよい。
- ❑ 有名な演奏家の楽譜を寄贈してもらい展示する。(プラバのコンサートで来られた演奏家から寄贈してもらう)
- ❑ 資料の貸出・返却を郵送で対応できるようにする。

## ③イベント・サービスについて

- ❑ 夜の図書館を隔月で実施し、運営ボランティアも募る。有料でもよい。
- ❑ 寝袋等を持参し、図書館ホテル・ミッドナイト(オールナイト)図書館を実施する。
- ❑ 図書館での雑談 OK デーを設ける。(映画の応援上映のようなイメージ)
- ❑ ホールと図書館の管轄が違っているので共同イベントが作りにくい。
- ❑ 大人のおはなし会、大人のためのブックトークを開催する。
- ❑ 司書のお勧め本講評のコーナーをつくる。
- ❑ 作家・著者によるサイン会を実施し、読書に興味をもってもらう。
- ❑ レファレンス力のアピールを。レファレンスの達人やレファレンス集を作成する。
- ❑ 新刊について SNS を使って情報発信をする。今まで興味のなかった分野・作家にも興味を湧くようになる。
- ❑ HP は本の予約などで便利なため引き続き活用したい。
- ❑ 新刊コーナーを復活させる。
- ❑ 定期古本市を開催する。
- ❑ 読書会等を実施する場所を提供する。



## ④音楽ホールとの複合施設にある図書館に求めるものについて

- ❑ 楽譜を置いてほしい。
- ❑ コン서트関連の書籍紹介コーナー、アーティスト紹介コーナー、CD 等視聴覚資料室をつくる。
- ❑ ホワイエでも本が読めるようにする。
- ❑ コン서트開催日は玄関ロビーが混雑し、入場待ちの人も図書館来館者も困るため、その日だけは図書館の出入り口を外に設置する。
- ❑ 月・季節のテーマと本・音楽の結びつけを行い、特設コーナーを設ける。毎月館(総合文化センター)全体で1つのテーマを決める。

## ⑤子ども・親子連れに関すること

- 学童、託児を行う。
- 親子連れのための子どもコンシェルジュ（アテンダント）で読書普及を行う。（親が館内利用している間、子どもに単なる託児ではない別メニューを提供）
- kids day を設ける。（騒いでも良い日をつくる）

## ⑥居心地のいい場所

- 一般と児童が共存できるようにする。
- 一人で来ても、グループで来ても良い居場所にする。
- 大人は大人、子どもたちは子どもたちで楽しめるスペースをつくる。
- 設備的に無理であれば曜日別で時間を分けて気兼ねなく利用できる場所を確保する。
- 現状のようにお互いが気を使い合う共有のスペースも大切。
- 子どもへの読み聞かせコーナーの充実。声が漏れないような設備。
- ワンフロアだから大人から子どもまで本に親しめる、家族で来やすいことも利点。
- 外でも読めるようにする。
- 利用者の立場に親切的な図書館にする。

## ⑦これまで来てくれなかった人が来てくれるようになるには

- SNS で情報発信。まず興味を持ってもらうことから始める。
- 駐車場が2時間無料になったのだから、もっと広報して誘客する。

## ⑧カフェとの関連

- 借りる前の本をコーヒー等を飲みながら試し読みし、見た後に借りられるようにする。
- 図書館とカフェの組み合わせが良い。
- カフェにテラス席ができれば、読書している風景を見せることができ、見た人が読書に興味をもてるのではないか。

## ⑨学習環境

- 大人が開架で蔵書を使った調べものをするための場所を確保する。（キャレルは学生で満席）。
- 調べもの時に広く使える大きなテーブルがほしい。

## ⑩書架の工夫

- 郷土資料コーナーをもっと大切にする。
- 子どもたちにも気軽に立ち寄れる郷土資料コーナーをつくる。郷土資料に興味を持てるようにアピールする。
- 本が探しやすいように工夫する。
- おはなしコーナーが見えにくく、場所がわかりづらい。
- 分類ごとに整然と並べられているのは便利。反対にそれぞれの分野の本についてもっとアピールする。

## ⑪その他

- 市バス車内に返却ボックスを設置する。

- 多様なボランティアの育成を行う。
- 館内（蔵書）検索システムを充実させる。（本の場所、在架わかりやすく）
- エントランス前の広場にキッチンカーが入って営業できないか。
- 個人所有の本の交換スポットがあったらいい。
- 民間管理をさせてはどうか。

### (3) 「複合施設について」 リニューアル後の総合文化センターをどう利活用するのか

#### ①これまで来てくれなかった人が来てくれるようになるには

- お酒を出すコンサートを行う。
- 子供ウィークを設ける。
- プラバ用のバスで各学校から1回は子供を呼んでパイプオルガンを含め知ってもらおう。
- カフェと広場をつなげる（キッチンカーを呼ぶ、カフェの窓を開放する、テラス席を作る等）
- 仕事をしている人へ向けてのコンサート、図書館にする。
- ターゲットを絞ったイベントをそれぞれ行う。
- 駅ピアノのようなフリーオルガン、フリーピアノを置く。（図書館との防音が必要か？）
- 学習室があると子供が集まる。
- ホワイエ等に市民の作品や情報を展示できるスペースをつくる。
- 和室を利用して読書会を行う。
- 図書館を移動し、夕焼けを生かして湖畔の図書館にする。
- テーマ別イベントを行う。（茶、会談、八雲、松江でなくても）
- パイプオルガンの活用をもっと増やす。
- イベントがあった時に毎回数分のパイプオルガンが聞けるといい。
- 施設に入ってすぐの場所に、ワクワクするスペースをつくる。文芸や音楽への何かすてきなことを生み出し、たくなるようなスペースを通して、図書館やホールに行くような配置にする。
- 市立図書館でしか読めない本、過ごせない何か、プラバホールでしか聴けない音楽など、プラバに特化したコーナーを設ける。
- 休館中から、広報を徹底する。変わった箇所を伝えていく。
- 自販機コーナーのスペースにピアノを自由に弾けるコーナーを設ける。
- 周辺のお店（レストラン、カフェ、本屋等）と一緒にまちづくりができるイベントがあると良い。
- 管理側と市民側をつなぐコンシェルジュがいたら良い。
- ロビー、ホワイエなどに自由に弾ける楽器を置いて近くに楽譜などがあると良い。
- 常に音楽が流れている部屋があると良い。あわせて打ち合わせもできると良い。
- マーブルテレビと連携してモニター等を設置し、市民の音楽活動の報告や PR 映像がみられるようにする。

#### ②音楽と図書館のコラボレーション

- 図書館に音楽コーナーを作る。（本に出てくる曲を紹介する。CDで聴けるようプレイヤーを設置。CDレンタル、楽譜も見られるようにする。CDの寄付も募る。）
- 図書館とホールのコラボイベントを行う。（読み聞かせ+物語に出てくる曲のコンサート）
- 市民でつくるプラバ文化祭（音楽、フリマ、食べもの、クラフト、古本市）を開催。複数の設備、部屋を使用したらお得になる料金プランがあると良いのでは？
- 映画・漫画と音楽・図書のコラボを行う。
- 司書、音楽スタッフのおすすめコーナーをつくる。
- 運営団体同士の横のつながりがあると良い。管理体制を見直すと共同でイベントもできるし、スペース問題も解決しあえる。
- ホワイエに図書コーナーを定期的につくる。ホワイエでも図書館の本が読めると良い。
- ホールまたはホワイエ等に音楽・楽器に関する本を月がわりに並べる。



- 読み聞かせと生演奏を組み合わせる。

### ③居場所づくりになるような取り組み

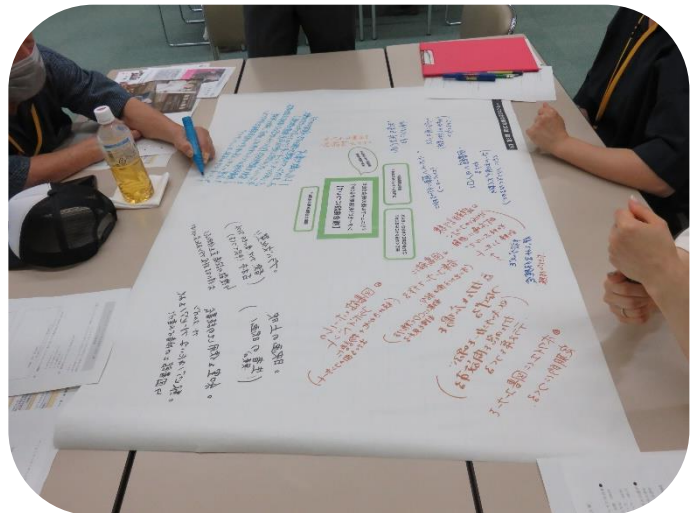
- レストランをグレードアップする。(店のキャパシティの増大)
- 借りたい本、または借りた本がそのままオープンカフェなどで読めるようにする。
- 乳幼児連れの方がモニターを観ながらお茶を飲んだりくつろいだりするスペースをつくる。
- フリースペース、交流広場をつくる。

### ④音楽と図書館以外の活用

- 土曜夜市を開催する。
- 地域とコラボし、避難訓練を行う。まず広場に避難し、その後ホールで訓練。防災グッズを使う体験会や炊き出し体験を行う。
- 映画を上映する。(生音演奏の映画)
- 外の広場で定期的にマーケットを開催する。(市民が作ったおいしいもの、花等)。文芸や音楽コーナーもつくる。

### ⑤使いやすい施設・設備・規則の改善

- 小ホールへ簡単に行けるようにエレベーターを設置する。
- 大ホール利用で大人数の時に入りづらくなるので、図書館への入り口をわける。
- トイレの数を増やす。
- ホワイエでの飲食を可能にする。
- ホール代を改定する。(現行の減免措置は継続)
- 営利を最終目的とするイベントには+αの利用料金を追加する。
- 駐車料金はイベントに関係した人の場合、3時間まで無料にする。
- 企業がコンサート以外の利用をする場合は割高料金を課すべし。
- ハンドマイクの性能をレベルアップする。
- 座席の幅や角度をレベルアップする。
- 和室を託児で使いやすいようにする。
- 噴水予定地に水道、電源を設置する。
- ホールホワイエでドリンクコーナーを常設する。
- 駐車場を増設する。
- カフェの活用法を拡大する。
- 玄関に入ってすぐにわかる所に館全体の部屋・トイレ等のわかりやすい表示が必要。
- 音が出る空間と静かな読書空間の区切りを工夫する。



### ⑥その他

- 図書館が人口に対して少ない。
- リニューアル後も現行のスタッフはなるべく配置換えしないでほしい。